

イベント報告「ランタンアート2011」<12月17日(土)18日(日)>

3回目となる今年も、市内小学生とワークショップ参加者が障子紙に絵を描いたランタンと、会員が紙を切り抜いて作ったランタン、そしてオリジナルコンテストに出品されたランタンがセンター地区を彩り、合計約5,500個になりました。今回は、谷田部東中学の美術部の生徒も切り抜きランタンを出展し、来場者の目を楽しませ



ました。さらに休憩所を兼ねた「ランタンワークコーナー」では、希望者がその場でランタンを作りセンター広場に飾りました。センター広場では、ストリートパフォーマンスの提供もあり、来場者を楽しませてくれました。

▼アフリカンドラム「さばカン」のパフォーマンス



<当日の準備>

ランタンの設置は、会員の作ったものは会員自身で行い、センター広場では、「つくば光の森」のテーマ「光でつなぐ復興への願い」を現わす「不死鳥」を共同で描きました。また、竹園東・竹園西・吾妻の3小学校の児童のものは保護者ボランティアが、それ以外は会員ボランティアとインターン学生が行いました。

作品のレイアウトも考えながらの作業は骨が折れますが、来場者が「きれいなねえ」と感嘆の声をあげて記念撮影をしているのを見かける時が、苦労が報われる瞬間です。小学校の先生からも、お礼の言葉をいただきました。



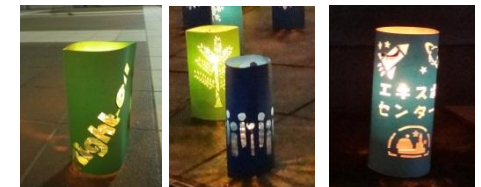
さらに今年もランタン点灯直前まで強風に悩まされ、せつかく並べたランタンが倒れてカバーが濡れてしまったり、事前清掃の後にまた落ち葉が溜まり急遽清掃したりと、ハプニングが多々ありましたが、皆様のご協力あればこそ乗り越えられました。本当にお疲れ様でした。

協賛・ボランティアご協力ありがとうございました。
イオンリテール、茨城県つくば美術館、茨城トヨペット、研究学園都市コミュニティケーブルサービス、常陽銀行、そごう・西武、つくば科学万博記念財団、筑波学園ホテル、筑波学院大学、つくば市、雄好会、筑波大学、つくば都市交通センター、つくば都市振興財団、筑波都市整備、都市再生機構、東日本電信電話、広沢土地倉庫、三井住友銀行、ライトオン、茨城県住宅管理センター、茨城県造園建設業協会、茨城住宅管理協会、つくば観光コンベンション協会、つくばの良品、つくばみどり会、利根ココ・コーポラトリング、URリンケージ、吾妻小学校・竹園西小学校・竹園東小学校の保護者の皆さん

台車の貸出・ペットボトル収集にもご協力いただきありがとうございました。

<会員制作ランタン>

事務局が用意した切り抜き型だけではなく、独自の切り抜きランタンを作る会員さんが増えています。自社をアピールするもの、来場者を楽しませる遊び心のあるものなど、年々パワーアップしています。来場者も前年度と違うアイデアを楽しみにしているようです。来年も素敵なアイデアお待ちしております。



▲左から「ライトオン」「筑波銀行」「エキスポセンター」の自社のイメージやロゴを切り抜いたランタン



▲「つくば都市交通センター」の、三つ葉のクローパーの中に1つだけある四葉のクローパーを探そうランタン版「ウォーリー」を探せ

「つくば光の森」～光でつなぐ復興への願い～<11月19日～1月9日>

冬のイルミネーション「つくば光の森」が1月9日で終わりました。

<シンボルマーク決定>

つくば駅前賑わい創出事業実行委員会とセンター地区協議会が、冬のセンター地区を盛り上げるために協力し、つくば駅周辺のイルミネーションを総称して「つくば光の森」と呼ぶことになったことを記念して、「シンボルマーク」の募集を11月1日から30日まで行いました。

応募作品が34作品あり、実行委員会と協議会と専門家からなる選考会で、最優秀賞が決まりました。次の「つくば光の森」からシンボルマークとして、印刷物、



オリジナルランタンコンテスト

今年もアイデア満載の10作品のエントリーがあり、来場者に投票していただき、集計した結果、以下の通り賞が決定しました。総投票数は2,277票と、前年の倍でした。

- <最優秀賞>親子で作ったECOランタン (デイズタウンファミリー)
- <優秀賞>ありがとうタイ・そしてがんばってタイ (Studio Blue Harmony Yukariとその仲間たち)
- <優秀賞>アルカディアの不死鳥 (並木ファイターズ)



▲最優秀賞「親子で作ったECOランタン」

落ち葉清掃



ランタンアートを安全に開催するため、また地域環境整備のために、デイズタウンからエキスポセンターまでのペデの落ち葉清掃を12月8日(木)に行いました。「茨城県造園建設業協会」と「つくばみどり会」が、清掃作業のみならず、集めた落ち葉を回収するパッカー車を3台出動

掲示物、ホームページ等に使用されます。

<つくば光の森案内MAP発行>

「つくば光の森」のPRのために、「つくば光の森案内MAP」を作成しました。25,000部発行し、11月19日からTX各駅や、つくば市内の公共施設・商業施設などで配布したほか、つくばマラソンや茨城県・つくば市のPRイベントなどでも配布されました。

広告・クーポン協力ありがとうございました。
茨城県赤十字血液センター、研究学園都市コミュニティケーブルサービス、常陽銀行、筑波学園ガス、筑波学園ホテル、つくば観光コンベンション協会、筑波銀行、つくば市商工会、つくば都市交通センター、筑波都市整備、つくばの良品、広沢土地倉庫、ライトオン

筑波学院大「インターンシップ」

筑波学院大学が地域活動の場を借りて社会力ある人間を養成するための「オフキャンパスプログラム」の一環として、2年生7人が「ランタンアート2011」のスタッフとして参加しました。8月のまつりつくばでの「ランタンアート事前ワークショップ」から始まり、ワークショップでの呼び込みから、協議会ブログでの報告、ランタンアート当日の運営まで関わっていただきました。特に、ランタンアートの2日間は朝から晩まで、寒さに負けず、若いパワーで頑張ってくれました。

「大変だったけれど、自分よりずっと年上の人に質問され、頼りにされたことがうれしかった」「イベント当日よりも準備に時間がかかり、イベントの大変さがわかった」などの感想がありました。



して協力してくださったため、作業がスムーズに行えました。それでも、植込みから落ち葉を掻き出す作業は大変で、寒い日だったにもかかわらず汗ばむほどでした。雨が降り始めて予定時刻より早めの終了となりましたが、お陰様で、見違えるようにきれいになりました。

ご協力ありがとうございました。
イオンリテール、茨城県つくば美術館、茨城トヨペット、つくば科学万博記念財団、筑波学園ホテル、つくば市、筑波大学、つくば都市交通センター、つくば都市振興財団、筑波都市整備、都市再生機構、広沢土地倉庫、茨城県住宅管理センター、茨城県造園建設業協会、茨城住宅管理協会、つくば観光コンベンション協会、つくばの良品、つくばみどり会、利根ココ・コーポラトリング、URリンケージ

災害時の相互協力検討WGスタートしました。



ワーキンググループ活動に先立ち、12月20日(火)に、防災科学技術研究所の長坂氏による講演会を開催しました。東日本大震災において、被災地の情報を得

るために活用された方法や、災害リスク情報の作成には公と民の協力が必要であることなどを、お話いただきました。

第1回WGは1月19日(木)に開催しました。災害専門分野の会員(つくば市生活安全課・消防・警察)より、東日本大震災に起こったこと、どんな問題があったか、今後どのように考えているかを説明してもらい、災害に備えて協議会はどのように協力していくべきかのアドバイスもありました。次回は、各会員の防災計画と震災の時の対応などについて、発表していただく予定です。

「アイラブつくば」で表彰されました

「アイラブつくばまちづくり補助事業」の補助金を活用して実施した「グリーンFestival」(2010年5月実施)が、独自の事業による社会貢献活動と認められて、11月23日の表彰式・フォーラムにおいてつくば市より「実践団体証」をいただきました。今後もセンター地区に賑わいを創出するため、頑張りましょう。



東松島の「ペゴニア」冬越ししています

宮城県東松島より義援金の御礼としていただいた「ペゴニア」が霜で枯れないように、駅前広場からUR都市機構ビル南に移して、冬越しをさせています。ここは日当たりもよく、カバーをかけているおかげで、冬にもかかわらず元気がままです。春になったら駅前広場に戻して、市民の皆さんに見ていただく予定です。



梅に願いを

筑波山梅まつりのイベント「梅に願いを」を、2月12日(日)に今年もクレオ前で開催します。来場者に願い事を書いてもらい、ハートの『メッセージリング』に飾ります。願い事は筑波山梅まつりの開園式の際、祈禱していただきます。

12日に願い事を書いた方には、筑波山ケーブルカー・ロープウェイペア優待券や日帰り温泉入湯券、チョコレートなどがあたる「恋みくじ」をお渡しします。

今年は2月4日～14日の期間、西武2階入口に『メッセージリング』を置けば、つくば駅総合案内所前にも『ミニハートのメッセージリング』を置き、多くの方の願い事を集めます



【編集後記】

オークラフロンティアホテル「カメリア」のオープンカフェや、第4日曜日のオーガニックファーマーズヴィレッジ、そして年末からのケーターリングカーによるペデへの出店などで、公共空間活用の実験中です。今後も第3・第4日曜日には、センター広場周辺に飲食出店の予定です。その他の場所でも実験的に出店が検討されています。公共空間が有効活用され、センター地区に賑わいが増すよう応援していきます。

